

サンプル株式会社 御中



企業財務診断報告書

食料品製造業

株式会社エフアンドエム

財務格付判定
2021年3月期
D1

FAS 形式基準による財務格付けの判定								
自己資本比率	債務償還年数							
	~5年未満	~7年未満	~10年未満	~15年未満	~20年未満	~40年未満	40年以上	CFマイナス
30%以上	S 超優良先	A 優良先	B 良好先	D1 要注意先	D1 要注意先	D1 要注意先	D1 要注意先	D3 要注意先
15%以上	A 優良先	A 優良先	B 良好先	D1 要注意先	D1 要注意先	D2 要注意先	D2 要注意先	D3 要注意先
自己資本プラス	B 良好先	B 良好先	C 正常先	D1 要注意先	D2 要注意先	D3 要注意先	D3 要注意先	D4 要注意先
自己資本マイナス 債務超過解消年数 3年以内	D1 要注意先	D1 要注意先	D2 要注意先	D3 要注意先	D4 要注意先	D4 要注意先	D4 要注意先	E 要管理先
10年以内	D1 要注意先	D1 要注意先	D2 要注意先	D3 要注意先	D4 要注意先	D4 要注意先	D4 要注意先	E 要管理先
10年超	D4 要注意先	D4 要注意先	D4 要注意先	D4 要注意先	E 要管理先	E 要管理先	E 要管理先	F 破産懸念先
債務超過且つ 当期利益マイナス	D4 要注意先	D4 要注意先	D4 要注意先	E 要管理先	E 要管理先	E 要管理先	E 要管理先	G 実質破綻先

正常先	S	財務状況が極めて良好
	A	財務状況は良好で資金調達に不安が無い
	B	財務状況に問題は無いと言える
	C	財務状況に問題は無い水準だが、ランクアップは必要
要注意先	D1	財務状況に課題があるものの金融機関によっては正常先に猶予している場合がある
	D2	財務状況に問題があり、基本的にプロパー融資が難しくなる
	D3	基本的に要注意先となり、3年から5年で正常先に戻れるかが重要（無理ならばD4）
	D4	要管理先＝不良債権となるギリギリの財務状況 改善が必達 新規融資は難しい
要管理先	E	不良債権扱いとなり、金融支援はリスクが前提
破産懸念先	F	不良債権として整理対象
実質破綻先	G	金融支援が難しい

(単位：千円)

	シミュレーション結果	
	現状の資金繰り状況	理想の資金繰り状況
資金収支 (手元に残る金額)	▲19,893	898
返済原資に対する 年間返済額の割合※1	378.47%	87.42%

※1 理想値は80%程度が理想の返済額とされています。

現状数値			(単位：千円)
①金融機関からの借入総額	-		132,450
②所要運転資金※2	(売掛金+受取手形+棚卸資産) - (買掛金+支払手形)		55,701
③金融機関のみの要償還債務	①金融機関からの借入総額-②所要運転資金		76,749
④経常利益	-		2,343
⑤減価償却費	-		5,740
⑥法人税等	-		939
⑦簡易CFに基づく返済原資	④経常利益+⑤減価償却費-⑥法人税等		7,143
⑧債務償還年数	③要償還債務÷⑦簡易CFに基づく返済原資		10.74年

※2 所要運転資金がマイナスの場合、本帳票では0円と評価しますが、実際は資金が余剰であることを認識しておくことが賢明だと思います。

(単位：千円)

現状の資金繰り状況	
年間返済額	27,036
⑦簡易CFに基づく 返済原資	7,143
返済原資に対する 年間返済額の割合※1	378.47%
資金収支 (手元に残る金額)	▲19,893

※1 理想値は80%程度が理想の返済額とされています。

(単位：千円)

理想の資金繰り状況	
年間返済額 (⑩÷⑪)	6,245
⑦簡易CFに基づく 返済原資	7,143
返済原資に対する 年間返済額の割合※1	87.42%
借換後の資金収支 (手元に残る金額)	898
資金繰り改善効果	
年間返済額	▲20,791

短長最適シミュレーション

現状の金融機関からの 短期借入金	15,000
短期借入不足額	40,701
理想の短期借入調達額	55,000
⑨合計の短期借入金残高※3	70,000
⑩返済を行うべき借入金額 (①-⑨)	62,450
⑪理想の返済期間※4	10.00年

※3 理想的な短期借入金額は、所要運転資金の1.2倍程度です。

その額が手形貸付か当座貸越で調達できるのが理想です。

※4 現状の債務償還年数を確認して予定返済期間を入力して頂くことが理想です。

1. 債務償還年数

判定	貴社数値	決算期
	10.74年	2021年3月期
—	-	2020年3月期

	潰れない水準です	～5年未満
	良好な水準です	5年～7年未満
	あと一歩向上が欲しい水準です	7年～15年未満
	改善する必要があります	15年以上
	危険な状況です	20年以上または計算不可

【改善ポイント】

- ・簡易CFに基づく返済原資を増やすことで、年数が短くなります。
- ・簡易CFに基づく返済原資を増やすには、「経常利益」を増加させる必要があります。

10年未満にするために必要な金額

	簡易CF	要償還債務
現状	7,143	76,749
理想金額	7,675	76,749
差額	532	(単位：千円)

【指標の概念】

- この指標が10年未満が適正です。
- 10年を超えると融資を受けにくくなるといっても過言ではありません。
- 金融機関の融資判断において債務償還年数は最も重要な財務指標の1つで、借入金の返済負担の軽重を計る指標とされています。
- 簡易CFに基づく返済原資の何年分の借入を行っているかの指標になります。
- 15年まで許容してくれる金融機関もあります。

2. 自己資本比率

判定	貴社数値	業界中央値	決算期
	13.85%	10.24%	2021年3月期
—	-		2020年3月期

	潰れない水準です	30%以上
	良好な水準です	15%～30%未満
	あと一歩向上が欲しい水準です	0%～15%以下
	改善する必要があります	資本欠損
	危険な状況です	債務超過

【改善ポイント】

- ・多くの金融機関が融資判断における「正常先」の形式的な基準として、自己資本比率が10%以上であることとしています。自己資本比率を向上するためには、資産（負債）は少ない方が良いと言えます。また、在庫やその他流動資産の内容に気を配りましょう。

15%にするために必要な金額

	自己資本	総資産
現状	30,428	219,746
理想金額	32,962	219,746
差額	2,534	(単位：千円)

【指標の概念】

- 自己資本が資本金を割り込んでいる状態を「資本欠損」と呼び、形式的に要注意先とする金融機関もあります。
- 節税志向の強い経営者もいらっしゃいます。しかし、安定して良好な融資取引を獲得するには、まずは自己資本を厚くして企業の持続性を高めることを優先しましょう。

3. 債務超過解消年数

判定	貴社数値	決算期
—	計算不要	2021年3月期
—	-	2020年3月期

	融資を検討できる水準	～1年未満
	融資をギリギリ検討できる推移	1年～5年未満
	融資検討するのは難しい	5年～10年未満
	危険な状況です	10年以上または計算不可

【改善ポイント】

- ・簡易CFに基づく返済原資を増やすことで、年数が短くなります。


良好な水準です現状維持しましょう




	債務超過額	税引後当期純利益
現状	計算不要	1,403
理想金額	計算不要	1,403
差額	-	(単位：千円)

【指標の概念】

- 債務超過になっている企業が現在の利益ベースなら、あと何年で債務超過を解消できるかはかる指標とされています。
- 金融機関の融資判断において債務超過の場合、これ以上融資を受けにくくなり返済されないのではないかとされています。
- この指標が3年を超えると融資を検討するのは難しいといっても過言ではありません。

4. 短期借入カバー率

判定	貴社数値	決算期
	26.93%	2021年3月期
—	-	2020年3月期

-  良好な状態 120%以上
-  資金調達方法の見直しが必要です。 30%~120%未満
-  短期借入金が大幅に不足しています。 30%未満

【改善ポイント】

- ・所要運転資金分を短期借入金で調達することは実質返済不要となり資金繰りの安定化に繋がる。
- ・財務格付がBランク以上の場合は、手形貸し付けではなく当座貸越の枠設定を目指しましょう。

■ 120%にするために必要な短期借入金理想額


	短期借入金	所要運転資金
現状	15,000	55,701
理想金額	66,841	55,701
差額	51,841	(単位：千円)




【指標の概念】

- 当座貸越枠が既にある場合は短期カバー率の指標は不要となります。
- 所要運転資金は返済の無い形式の短期（継続）借入で賄うことが健全な資金調達方法と言えます。しかし長期資金（分割返済有りの証書貸付など）で調達しているケースが少なくありません。まずは所要運転資金の金額を確認して、短期借入できれば当座貸越枠を設定してもらいましょう。利益は出ているのに資金繰りに余裕が無いという会社は正常運転資金の調達の仕方を見直しましょう。
- 所要運転資金が当座貸越で設定できることがベストですが、金融機関が応じてくれるかどうか財務状況に関係します。財務の課題を診断してみましょう。
- 所要運転資金がマイナスの場合は、短期借入金で賄うことは原則不要になります。しかし企業によっては必要な場合があるため確認しましょう。

※所要運転資金のことを『正常運転資金』と呼ぶ金融機関もあります。

5. 年間返済額と簡易CF比率

判定	貴社数値	決算期
	378.47%	2021年3月期
—	-	2020年3月期

-  良好な水準です 80%未満
-  問題のない水準です 80%~150%未満
-  改善する必要があります 150%以上または簡易CF赤字

【改善ポイント】

- ・余裕を持った返済にするために、金融機関に返済額を減らす相談をしましょう。
- ・長期借入金の返済期間を延ばすことや1年間で生み出す金額を増やす必要があります。


■ 簡易CFの150%で返済するために必要な金額




	年間返済額	簡易CF
現状	27,036	7,143
理想金額	10,715	7,143
差額	▲16,321	(単位：千円)

【指標の概念】

- 所要運転資金は短期継続借入で調達出来れば、あとは返済額をフリーキャッシュフローの80%程度に抑えることで資金繰りは安定します。
- 簡易キャッシュフロー＝計算式は経常利益－減価償却費－法人税等となります。
- 計算の結果、長期借入が15年超の様な超長期になるケースもありますが、金融機関に相談してみましょう。対応が可能かもしれません。
- 短期借入は変動金利、長期借入は固定金利など金利変動のリスクヘッジも検討してみましょう。

6. 手元流動性比率

判定	貴社数値	決算期
	125.64%	2021年3月期
—	-	2020年3月期

-  良好な水準です 150%以上
-  問題のない水準です 80%~150%未満
-  改善する必要があります 80%未満

【改善ポイント】


- ・簡易CFを増加させるためのコスト削減などの事業計画書の作成を行いましょう。
- ・金融機関への返済額の見直しにより現預金の増加を目指しましょう。





■ カバー率150%にするために必要な金額

	流動性現預金	月商
現状	25,746	20,492
理想金額	30,738	20,492
差額	4,992	(単位：千円)

【指標の概念】

- 月商何ヶ月分のキャッシュを保有しているかを示す指標で、現預金月商比率とも呼ばれます。
- 手元流動性とは「現金＋預金」を言います。
- 手元流動性比率は「手元流動性÷月商」で計算され、150%以上だと良好な状態と言われます。
- この比率は売掛金が除外されているのが特徴でより厳密に短期の支払能力を分析できるとされています。決算期末はもちろんですが、普段から月末の資金準備を余裕をもっておきましょう。





7. 売上総利益率(粗利益)			
判定	貴社数値	業界中央値	決算期
	20.98%	32.10%	2021年3月期
—	-		2020年3月期

	良好な水準です	38.52%以上
	問題ない水準です。	25.68%以上 ~38.52%未満
	改善する必要があります	0%~25.68%未満
	黒字化に向けた取り組みが必要です	売上総利益が赤字の場合

【改善ポイント】

- ・新たな販売先確保や既存取引先からの更なる受注等で売上が増加すると、比率が改善します
- ・外注費の内製化などによる原価の抑制をすることで、比率が改善します

8. 在庫回転日数			
判定	貴社数値	業界中央値	決算期
	58.07日	21.09日	2021年3月期
—	-		2020年3月期

	良好な水準です	16.87日以下
	問題ない水準です。	16.88日以上~21.09日以下
	改善する必要があります。	21.1日以上~31.64日以下
	危険な状態です。	31.65日以上~

【改善ポイント】

- ・余剰在庫を減らし適正な保有在庫とすることで、回転日数は改善されます。
- ・業種中央値を大幅に上回る場合は、その理由や実在性を金融機関に説明し、信用を得ることも重要です。

No	項目名および計算式	指標の説明
1	債務償還年数 (有利子負債÷所要運転資金)÷(経常利益+減価償却費-法人税等)	あと何年で借入金を返済できるかを示す指標です。
2	自己資本比率 自己資本÷総資産×100【%】	総資本に対する自己資本の割合を示す指標です。
3	債務超過解消年数 債務超過÷税引後当期純利益	現状の利益ベースならあと何年で債務超過を解消できるかを示す指標です。
4	短期借入カバー率 短期借入金÷所要運転資金	所要運転資金に対する短期借入金の割合を示す指標です。
5	CF返済充当率 年間返済額÷(経常利益+減価償却費-法人税等)	簡易キャッシュフローに対する年間返済額を示す指標です。
6	手元流動性比率 手元流動性÷(売上高÷12【月】)	月商の何か月分の流動性現預金を保有しているかを示す指標です。現預金月商比率とも呼ばれます。
7	売上総利益率 売上総利益÷売上高×100【%】	売上高に対する売上総利益率(粗利益)の割合を示す指標です。
8	在庫回転日数 棚卸資産合計÷売上高×365【日】	棚卸資産の平均的な在庫期間を示し、棚卸資産に投下された資本の効率を示す指標です。

■ 業界中央値32.1%にするために必要な金額

	売上総利益	売上高
現状	51,583	245,905
理想金額	78,936	245,905
差額	27,353	(単位：千円)

【指標の概念】

- 中小企業の経営財務の改善において、経費面は縮める余地がそれほど大きくない事業者でも、売上総利益率については、改善計画等を策定し予実管理を行うことで改善効果が見込める事業者が多いと言われます。目標設定の数値確認のためにも適正水準を確認しましょう。
- 適正水準を上回るならば問題の無い水準としています。
- 適正水準を上回る場合は、その理由(他社優位性)も認識しておくことと事業性評価により融資取引もより良いものになる可能性があります。
- 適正水準の半部以下(赤字含む)の水準は抜本的な業務改善などが必要です。

■ 業界中央値21.09日にするために必要な在庫金額

	棚卸資産合計	売上高
現状	39,123	245,905
理想金額	14,209	245,905
差額	▲24,914	(単位：千円)

【指標の概念】

- 在庫回転期間が長いことは自己資本比率などの重要な財務指標に悪影響となるだけでなく、資金負担や資金化リスクにもつながります。
- 業種中央値を大幅(2倍以上など)に上回る場合は在庫の実在性や換金性に疑念が生じることも念頭においておく必要があります。
- 正常運転資金の算出においては業種中央値を上回る部分は含めないという金融機関もあります。
- 適正水準を上回る場合はその理由や実在性(流動性)などを開示することで金融機関に信用を得ることも重要です。
- 少ない場合はその理由もアピールすることで事業性評価のプラス材料となります。

格付ランク	優先度	メニュー	チェック
D1~D2	最重要	Dランクは財務に問題があります。債務償還年数や自己資本比率などの指標が問題なのかを確認しましょう	
D1~D2	最重要	改善すべき債務償還年数や自己資本比率等（財務指標）を明確にした事業計画を作成し、金融機関に提出しましょう また、早期経営改善計画補助金を活用した事業計画の作成を検討してみましょう	
D1~D2	最重要	キャッシュフローの1.5倍以上の返済がある場合は借り換えを進め、返済負担を減らしましょう	
D1~D2	高	資金繰り表を作成し、早め早めの資金計画を立てましょう	
D1~D2	高	決算レポートを金融機関に提出しましょう	
D1~D2	高	年間の事業計画を月次で作成し、経費削減や原価率低減に注力し予実管理を推進しましょう。 また部門別、製品別の採算把握など事業の見える化を進めましょう	

(参照資料)借入金一覧表

令和3年03月期

(単位：千円)

借入先区分	借入先	借入形態	2021年3月期 期末現在残高	保証の種類	年返済額	月返済額	利率	種別
金融機関	A銀行	手形貸付	15,000	プロパー	0	0	1.00%	短期借入金
金融機関	A銀行	証書貸付	19,462	保証協会	6,480	540	1.50%	長期借入金
金融機関	B信用金庫	証書貸付	55,478	保証協会	11,076	923	0.80%	長期借入金
金融機関	C銀行	証書貸付	42,510	保証協会	9,480	790	0.80%	長期借入金
借入金合計			132,450		27,036	2,253		

(参照資料)業界中央値比較表

		2020年3月期	2021年3月期	業界中央値(※1)
総合収益性	総資本営業利益率	-	1.55%	1.19%
	総資本経常利益率	-	1.07%	1.17%
	総資本当期純利益率	-	0.64%	0.81%
	自己資本当期純利益率	-	4.61%	5.07%
売上高利益	売上総利益率	-	20.98%	32.10%
	売上営業利益率	-	1.39%	0.83%
	売上経常利益率	-	0.95%	0.85%
	売上当期利益率	-	0.57%	0.57%
	売上高販管費率	-	19.59%	32.52%
回転率・回転期間	総資本回転率	-	1.12回	1.37回
	売上債権回転期間	-	72.71日	33.42日
	棚卸資産回転期間	-	58.07日	21.09日
	有形固定資産回転率	-	2.68回	3.70回
	買入債務回転期間	-	48.11日	16.51日
	運転資金月商倍率	-	2.72月	1.24月
短期支払能力	流動比率	-	162.53%	146.39%
	当座比率	-	109.21%	93.35%
	支払準備率	-	41.04%	39.54%
	現預金比率	-	11.99%	8.45%

(参照資料)業界中央値比較表

		2020年3月期	2021年3月期	業界中央値(※1)
安 資 定 本 性 の	自己資本比率	-	13.85%	10.24%
	純資産倍率	-	3.04倍	1.35倍
の 調 適 達 合 用 性 と 運	固定長期適合率	-	78.32%	75.84%
	固定比率	-	380.61%	183.51%
借 入 状 況	借入依存度	-	60.27%	68.97%
	デットキャパシティレシオ	-	109.18%	117.15%
	預借率	-	22.27%	17.95%
	借入金月商倍率	-	6.46倍	5.88倍
能 償 債 力 還 務	キャッシュフロー 有利子負債比率	-	5.39%	6.22%
資 産 の 健 全 性	減価償却率	-	7.62%	13.18%
	売上高減価償却率	-	2.33%	2.24%
	流動資産 その他流動資産比率	-	▲0.68%	2.46%

・「-」の表示は、計算不可を示します。

・※1 業界中央値については『CRD法人2016年決算データ（2019年2月末時点）』を利用

(参照資料)2期比較表/貸借対照表

令和2年03月期

令和3年03月期

(単位：千円、未満四捨五入)

科 目 名	期 別	2020年3月期		2021年3月期		前期比較
		金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	
現預金		0	#DIV/0!	12,873	5.5%	12,873
A銀行		0	#DIV/0!	1,058	0.5%	1,058
B銀行		0	#DIV/0!	9,193	4.0%	9,193
C銀行		0	#DIV/0!	2,621	1.1%	2,621
定期預金		0	#DIV/0!	3,750	1.6%	3,750
現 預 金		0	0.0%	29,496	12.7%	29,496
受取手形		0	#DIV/0!	15,690	6.7%	15,690
売掛金		0	#DIV/0!	33,298	14.3%	33,298
売 上 債 権		0	0.0%	48,988	21.1%	48,988
仕掛品		0	#DIV/0!	37,346	16.1%	37,346
貯蔵品		0	#DIV/0!	1,777	0.8%	1,777
棚 卸 資 産		0	0.0%	39,123	16.8%	39,123
貸倒引当金(売)		0	#DIV/0!	▲ 800	-0.3%	▲ 800
そ の 他 流 動 資 産		0	0.0%	▲ 800	-0.3%	▲ 800
流 動 資 産		0	0.0%	116,807	50.2%	116,807
建物		0	#DIV/0!	46,600	20.0%	46,600
機械装置		0	#DIV/0!	19,299	8.3%	19,299
土地		0	#DIV/0!	22,189	9.5%	22,189
車両運搬具		0	#DIV/0!	3,729	1.6%	3,729
有 形 固 定 資 産		0	0.0%	91,817	39.5%	91,817
電話加入権		0	#DIV/0!	105	0.0%	105
無 形 固 定 資 産		0	0.0%	105	0.0%	105
保証金		0	#DIV/0!	1,700	0.7%	1,700
保険積立金		0	#DIV/0!	17,190	7.4%	17,190
子会社株式		0	#DIV/0!	5,000	2.1%	5,000
投 資 そ の 他 の 資 産		0	0.0%	23,890	10.3%	23,890
固 定 資 産		0	0.0%	115,812	49.8%	115,812
資 産 合 計		0	0.0%	232,619	100.0%	232,619
買掛金		0	#DIV/0!	32,410	13.9%	32,410
仕 入 債 務		0	0.0%	32,410	13.9%	32,410
短期借入金		0	#DIV/0!	15,000	6.4%	15,000
未払金		0	#DIV/0!	4,287	1.8%	4,287
未払法人税等		0	#DIV/0!	939	0.4%	939
前受金		0	#DIV/0!	15,621	6.7%	15,621
預り金		0	#DIV/0!	3,610	1.6%	3,610
そ の 他 流 動 負 債		0	0.0%	39,458	17.0%	39,458
流 動 負 債		0	0.0%	71,868	30.9%	71,868
長期借入金		0	#DIV/0!	117,450	50.5%	117,450
固 定 負 債		0	0.0%	117,450	50.5%	117,450
資本金		0	#DIV/0!	10,000	4.3%	10,000
資本準備金		0	#DIV/0!	5,000	2.1%	5,000
繰越利益剰余金合計		0	#DIV/0!	15,428	6.6%	15,428
純 資 産 合 計		0	0.0%	30,428	13.1%	30,428
負 債 ・ 純 資 産 合 計		0	0.0%	219,746	94.5%	219,746

(参照資料)2期比較表/損益計算書

令和2年03月期

令和3年03月期

(単位：千円，未満四捨五入)

科 目 名	期 別	2020年3月期		2021年3月期		前期比較
		金 額	対売上比	金 額	対売上比	
売 上 高		0	0.0%	245,905	100.0%	245,905
売上高		0	0.0%	245,905	100.0%	245,905
売 上 原 価		0	0.0%	194,322	79.0%	194,322
売 上 総 利 益		0	0.0%	51,583	21.0%	51,583
役員報酬		0	0.0%	15,000	6.1%	15,000
給与手当		0	0.0%	11,527	4.7%	11,527
法定福利費		0	0.0%	2,994	1.2%	2,994
厚生費		0	0.0%	745	0.3%	745
賃借料		0	0.0%	950	0.4%	950
修繕費		0	0.0%	1,170	0.5%	1,170
事務用品費		0	0.0%	395	0.2%	395
消耗品費		0	0.0%	751	0.3%	751
水道光熱費		0	0.0%	1,058	0.4%	1,058
旅費交通費		0	0.0%	715	0.3%	715
手数料		0	0.0%	1,356	0.6%	1,356
租税公課		0	0.0%	662	0.3%	662
接待交際費		0	0.0%	2,966	1.2%	2,966
保険料		0	0.0%	2,146	0.9%	2,146
通信費		0	0.0%	805	0.3%	805
諸会費		0	0.0%	559	0.2%	559
リース料		0	0.0%	31	0.0%	31
雑費		0	0.0%	1,101	0.4%	1,101
減価償却費		0	0.0%	3,243	1.3%	3,243
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		0	0.0%	48,176	19.6%	48,176
営 業 利 益		0	0.0%	3,406	1.4%	3,406
受取利息		0	0.0%	0	0.0%	0
受取配当金		0	0.0%	37	0.0%	37
営 業 外 収 益		0	0.0%	37	0.0%	37
支払利息		0	0.0%	1,101	0.4%	1,101
営 業 外 費 用		0	0.0%	1,101	0.4%	1,101
経 常 利 益		0	0.0%	2,343	1.0%	2,343
税 引 前 当 期 純 利 益		0	0.0%	2,343	1.0%	2,343
法 人 税 等		0	0.0%	939	0.4%	939

(参照資料)2期比較表/損益計算書

令和2年03月期

令和3年03月期

(単位：千円，未満四捨五入)

科 目 名	2020年3月期		2021年3月期		前期比較
	金 額	対売上比	金 額	対売上比	
当 期 純 利 益	0	0.0%	1,403	0.6%	1,403

(参照資料)2期比較表/製造原価報告書

令和2年03月期

令和3年03月期

(単位：千円、未満四捨五入)

科目名	2020年3月期		2021年3月期		前期比較
	金額	対売上比	金額	対売上比	
材 料 費	0	0.0%	77,708	31.6%	77,708
[製]期首材料棚卸高	0	0.0%	38,295	15.6%	38,295
[製]原材料仕入高	0	0.0%	78,545	31.9%	78,545
[製]仕入値引戻し高	0	0.0%	▲ 10	0.0%	▲ 10
[製]期末材料棚卸高	0	0.0%	39,123	15.9%	39,123
労 務 費	0	0.0%	57,346	23.3%	57,346
[製]賃金	0	0.0%	49,890	20.3%	49,890
[製]法定福利費	0	0.0%	6,985	2.8%	6,985
[製]厚生費	0	0.0%	472	0.2%	472
外 注 加 工 費	0	0.0%	32,281	13.1%	32,281
[製]外注加工費	0	0.0%	32,281	13.1%	32,281
そ の 他 経 費	0	0.0%	26,987	11.0%	26,987
[製]電力費	0	0.0%	4,941	2.0%	4,941
[製]水道光熱費	0	0.0%	2,233	0.9%	2,233
[製]運賃	0	0.0%	2,322	0.9%	2,322
[製]燃料費	0	0.0%	6,482	2.6%	6,482
[製]修繕費	0	0.0%	2,853	1.2%	2,853
[製]賃借料	0	0.0%	518	0.2%	518
[製]租税公課	0	0.0%	1,772	0.7%	1,772
[製]保険料	0	0.0%	1,273	0.5%	1,273
[製]消耗品費	0	0.0%	1,994	0.8%	1,994
[製]広告宣伝費	0	0.0%	63	0.0%	63
[製]荷造運賃	0	0.0%	37	0.0%	37
[製]減価償却費	0	0.0%	2,497	1.0%	2,497
総 製 造 費 用	0	0.0%	194,322	79.0%	194,322
当 期 製 品 製 造 原 価	0	0.0%	194,322	79.0%	194,322